

精神神経科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	delirium-onset DLB(せん妄で発症するレビー小体型認知症)に関する調査研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	精神科学講座 講師 深津孝英
研究の対象となる方	2013年9月から2023年12月までに、当院にて、診断基準に記載のある核医学検査(MIBG心筋シンチあるいはDATスキャン)を行い、レビー小体型認知症と診断された方を対象とします。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年7月31日
研究目的及び利用方法	<p>[利用目的]</p> <p>せん妄を繰り返したり、せん妄後に認知機能低下を認める場合はレビー小体型認知症の前駆症状を疑う必要があるといわれていますが、現在報告例は非常に少ない状況です。そのため、せん妄を初期症状として発症するレビー小体型認知症について調査研究を行い、詳細を明らかとすることを目的とします。</p> <p>[利用方法]</p> <p>対象となる患者さんの主要初期症状をカルテ調査することにより、McKeithら(2020年)が提唱する3つの臨床亜型分類に基づき、①せん妄で発症するレビー小体型認知症、②精神症状で発症するレビー小体型認知症、③レビー小体型認知症の軽度認知機能障害に分類し、せん妄で発症するレビー小体型認知症について発症要因を精査し、患者背景や認知機能、予後については上記の3群間で統計的な比較検討を行います。</p> <p>[他の機関へ提供される場合はその方法]</p> <p>なし</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、簡易認知機能検査等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年6月30日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 精神科学講座 担当者：(職名) 講師 (氏名) 深津孝英 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22130)